

## 神様から与えられたミッション

満開の桜と、鮮やかな緑の新芽に春の息吹を感じる今日、晴れて英和生となられた中学校63名、高等学校84名の皆さん、入学おめでとうございます。

そして今日は、新入生ご家族の皆様のご臨席を賜り感謝を申し上げますと共に、お嬢様のご入学を心よりお慶び申し上げます。また来賓の皆様のご臨席も賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、皆さんは星空に興味があるでしょうか。今、日本の宇宙船「はやぶさ2」が遠い「りゅうぐう」という星で沢山の人工知能(AI)の技術を使って、不可能なミッションに挑戦し、宇宙誕生の謎に迫ろうとしています。

人類が宇宙の謎に挑戦したのは、古代ギリシアの時代まで遡ることができると思いますが、自然科学と呼ばれてからは、約400年前のガリレオ・ガリレイが始まりでしょう。皆さんもご存じの通り、ガリレオは望遠鏡を発明しました。そして月や太陽など天体の観察をし、宇宙の星が太陽を中心にある一定の法則で動いている。そしてこの地球も動いていると発見した科学者です。

でも、ガリレオはこうも言っています。

私は宇宙の星がどう動いているのかを発見したけれども、最初にどうしてこのように星が置かれたのか、それはわからない

そして、こうも言っています。

天体はこの宇宙がどのように動いているのかを教えてくれる。  
聖書は天国へ行くのにはどうしたらいいのかを教えてくれる。

私は、ガリレオが望遠鏡で天体を観測しながら、一方で聖書を読み、祈りながら研究生活を送っていたのを思い浮かべることができ

ます。知識や経験、そして知恵も大切です。でも大切なのは、それをどのように用いるのかという人生の目的がより大切なことです。ガリレオはそれをわきまえていたのではないのでしょうか。

それは、英和で学び、人生を歩んでいく皆さんにとっては「あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」との聖書の言葉にあたります。そしてイエス様は続く「たとえ話」を通して、より具体的にその意味を語って下さいました。

ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下だって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』

祭司やレビ人というのは、知識と経験、そして知恵もある優秀な人たちでした。民衆も尊敬していました。でも残念ながら、倒れた人を避けて通ってしまいました。一方、サマリア人は外国の人で、軽蔑され嫌われていた人でした。でも、そのサマリア人が自分を軽蔑し嫌っていた人を助けました。そして、このサマリア人はデナリオン銀貨二枚を取り出し、この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います、と言い残して宿を後にしました。自分の旅は続けなければいけないけれども、サマリア人は倒れた人が回復することを信じ、祈り続けたのでした。

「主を愛しなさい」というのは英和の生活でお祈りを、礼拝を大切にしなさいということです。あなた方は日々の祈りと礼拝を通して「大切なこと、必要なこと」を学び、あなたがたの行いとなりま

す。そして意識しなくても「隣人を自分のように愛する」道を歩みます。

「はやぶさ2」も困難なミッションを一步一步クリアして進んでいます。自ら学びながら、考えながら進んでいます。私たちも英和で学びながら、共に聖書を読み、共に祈りながら、神様から与えられた目的に向かって、ミッションをひとつひとつクリアしていきましょう。

2019年4月6日

2019年度入学式 奨励

校長 **大橋 邦一**